

## 当院薬剤部において薬学実務実習を行った学生の方へ

### —「薬学実務実習における抗がん薬調製手技修得に関するカリキュラム構築の検討」

#### へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学病院 薬剤部 座間味 義人

#### 1) 研究の背景および目的

この研究は、薬学実務実習における抗がん薬調製手技修得の教育効果を検証し、安全かつ実践的なカリキュラム構築を目的としています。令和 4 年度薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂では、医療安全・危険薬取扱い・感染防止教育の強化が求められており、抗悪性腫瘍薬調製は薬剤師に不可欠な技能です。しかし現状では、学生の安全確保や施設制約から、模擬実習に留まっている場合が多いのが実情です。

この研究では、模擬薬剤を用いた抗がん薬調製手技実習を実施した薬学実務実習生を対象に行ったアンケート等を用いて、従来の講義中心教育と比較して、理解度・確認テストの変化を前後比較により評価し、教育効果を検証します。得られた知見は、薬学実務実習における教育内容の改善および安全管理意識に寄与することを目的とします。

#### 2) 研究対象者

2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方、100 名を研究対象とします。

#### 3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

#### 4) 研究方法

2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に岡山大学病院薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生に対して実施したアンケート調査等のデータを使用して、顧客満足度分析などを用いて抗がん薬調製手技修得に関する実務実習の満足度を調べます。

#### 5) 使用する情報

##### ① 理解度アンケート（実習前・後）

レジメンの内容、処方監査で注意すべき点、抗がん剤の催吐性リスク、催吐性リスク分類に応じた支持療法、抗がん剤の副作用、副作用に対する対症療法、抗がん剤の分類および薬理作用、無菌調製システム、薬剤師が関わる利点、薬局と連携する利点、医療費適正使用に薬剤師が関わる必要性、

（実習前：自由記載欄）実習で取り組みたいこと、実習に対する不安、その他

（実習後：自由記載欄）実習での改善点、薬剤師業務に対する感想、その他

##### ② 確認テスト（実習前・後）

調製時に泡立たせないように気をつける必要のあるもの、トポイソメラーゼⅡを阻害することで抗がん作

用を示すもの、アルコールを含むため、点滴直後に自転車の運転をさせてはならないもの、生理食塩水で希釈すると、希釈液中の塩化物イオンと反応し主薬の分解が起こるとされているもの、高度催吐性リスクに分類されるもの、血管外漏出した場合に組織が壊死する危険性のあるもの、がん化学療法におけるレジメンの正しい記述について、不可逆な心筋障害がおこるおそれがあるため、累積投与量の条件が定められているもの、リツキシマブのインフュージョンリアクションに関する正しい記述について

### ③ 満足度評価（実習後）

制吐剤の説明、制吐剤の講義資料内容、調製見学時の薬剤師からの説明、調製見学の時間、腫瘍センター見学の時間、抗がん剤調製の内容、抗がん剤調製の時間、自分の積極性、薬剤師からのフィードバック、確認テストの内容、総合満足度

## 6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部試験研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 7) 二次利用

この研究で得られた情報を将来別の研究に用いる可能性はありません。

## 8) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

私たちはこの研究によって特許を得る可能性があります。ただし、その権利は岡山大学に帰属します。研究対象者の方には帰属しません。

## 9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 薬剤部

氏名：坂居 知憲

電話：086-235-7646（平日：9時00分～17時00分）